

円グラフで見る一日の時間
5年 情報の読み取り 15番

名前

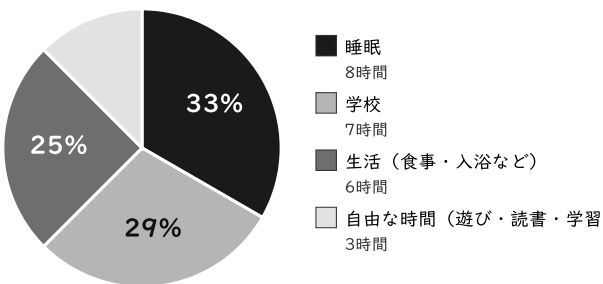
一日は、だれにとっても二十四時間です。その時間を、わたしたちは何に使っているのでしょうか。数字をならべただけでは分かりにくいものですが、円グラフにすると、全体を「1」として、それぞれの割合が、ひと目で分かるようになります。

資料1は、ある小学生の、平日一日の時間の使い方を表した円グラフです。いちばん多いのは睡眠で、一日のおよそ三分の一をしめています。次に多いのが学校で、この二つを合わせると、一日の半分以上になります。一方、遊びや読書、家庭学習などに自由に使える時間は、三時間ほどしかありません。

では、休日はどうでしょうか。資料2を見ると、自由に使える時間は、平日の三時間から、休日には五時間へと増えています。つまり、同じ二十四時間でも、日によって、自由な時間の長さは変わるのです。

円グラフや表を使って、自分の時間を「見える化」すると、何に多くの時間を使い、何が足りないのかが、はっきりと見えてきます。一日の時間は、だれにも同じだけあり、増やすことはできません。だからこそ、その限られた時間を何に使うかを、自分で考えて決めていくことが、大切なのではないのでしょうか。

資料1 ある小学生の平日一日の時間の使い方



資料2 自由に使える時間（平均）

	平日	休日
自由に使える時間	3時間	5時間

School Stock『円グラフで見る一日の時間』より

(1) この文章で、筆者がいちばん伝えたいことは、どれですか。一つ選びましょう。

ア 睡眠は、勉強よりも大切だということ。
イ 限られた一日の時間を、自分で考えて使うことが大切だということ。

ウ 休日は、平日より自由な時間が少ないということ。

エ 円グラフは、表よりもすぐれているということ。

(2) 資料1で、一日の中でいちばん多くの時間をしめているものは何ですか。

(3) 資料1から読み取れることとして正しいものを、一つ選びましょう。

ア 睡眠と学校を合わせると、一日の半分以上になる。

イ 自由な時間は、学校の時間より長い。

ウ 睡眠は、一日のおよそ四分の一である。

エ 生活の時間が、一日でいちばん長い。

(4) 資料2を見て答えましょう。休日に自由に使える時間は、平日より何時間多いですか。

(5) 二つの資料をふまえて、筆者がいちばん伝えたいこと(要旨)を、八十字以内でまとめましょう。

円グラフで見る一日の時間

5年 情報の読み取り 15番

名前

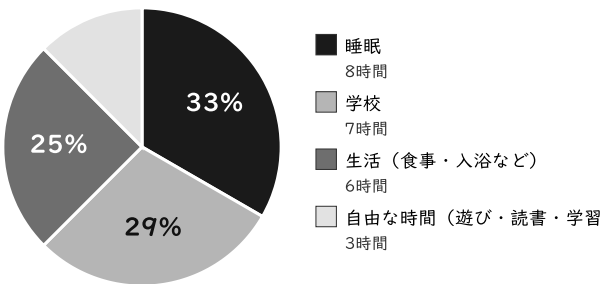
一日は、だれにとっても二十四時間です。その時間を、わたしたちは何に使っているのでしょうか。数字をならべただけでは分かりにくいものですが、円グラフにすると、全体を「1」として、それぞれの割合が、ひと目で分かるようになります。

資料1は、ある小学生の、平日一日の時間の使い方を表した円グラフです。いちばん多いのは睡眠で、一日のおよそ三分の一をしめています。次に多いのが学校で、この二つを合わせると、一日の半分以上になります。一方、遊びや読書、家庭学習などに自由に使える時間は、三時間ほどしかありません。

では、休日はどうでしょうか。資料2を見ると、自由に使える時間は、平日の三時間から、休日には五時間へと増えています。つまり、同じ二十四時間でも、日によって、自由な時間の長さは変わるのです。

円グラフや表を使って、自分の時間を「見える化」すると、何に多くの時間を使い、何が足りないのかが、はっきりと見えてきます。一日の時間は、だれにも同じだけあり、増やすことはできません。だからこそ、その限られた時間を何に使うかを、自分で考えて決めていくことが、大切なのではないのでしょうか。

資料1 ある小学生の平日一日の時間の使い方



資料2 自由に使える時間 (平均)

	平日	休日
自由に使える時間	3時間	5時間

School Stock『円グラフで見る一日の時間』より

(1) この文章で、筆者がいちばん伝えたいことは、どれですか。一つ選びましょう。

ア 睡眠は、勉強よりも大切だということ。

イ 限られた一日の時間を、自分で考えて使うことが大切だということ。

ウ 休日は、平日より自由な時間が少ないということ。

エ 円グラフは、表よりもすぐれているということ。

(2) 資料1で、一日の中でいちばん多くの時間をしているものは何ですか。

睡眠

(3) 資料1から読み取れることとして正しいものを、一つ選びましょう。

ア 睡眠と学校を合わせると、一日の半分以上になる。

イ 自由な時間は、学校の時間より長い。

ウ 睡眠は、一日のおよそ四分の一である。

エ 生活の時間が、一日でいちばん長い。

(4) 資料2を見て答えましょう。休日に自由に使える時間は、平日より何時間多いですか。

二時間(2時間)

(5) 二つの資料をふまえて、筆者がいちばん伝えたいこと(要旨)を、八十字以内でまとめましょう。

一日の時間は、だれにも同じです。増やすことはできません。だからこそ、その限られた時間を何に使うかを、自分で考えて決めていくことが、大切なことです。

解答・解説 円グラフで見る一日の時間（5年・情報の読み取り）

問1 イ

最後の段落に「限られた時間を何に使うかを、自分で考えて決めていくことが、大切なのではないのでしょうか」とあります。これが筆者のいちばん伝えたいこと（要旨）です。

問2 睡眠

資料1の円グラフで、いちばん大きいスライスは睡眠（八時間・全体のおよそ三分の一）です。本文の二つ目の段落にも「いちばん多いのは睡眠」とあります。

問3 ア

睡眠（33%）と学校（29%）を合わせると六十%をこえ、半分以上になります。イは自由な時間（3時間）＜学校（7時間）なので誤り。ウは睡眠がおよそ三分の一なので誤り。エはいちばん長いのは睡眠なので誤りです。

問4 二時間（2時間）

資料2の表で、休日の五時間から平日の三時間をひくと、二時間多いと分かります。表は「行」と「列」を組み合わせで読み取ります。

問5 （例）一日の時間はだれにも同じ二十四時間しかなく、増やすことはできない。だからこそ、グラフで自分の時間が見える化し、何に使うかを自分で考えて決めることが大切だ。

「時間は限られている（二十四時間・増やせない）」「自分で考えて使う・決める」という中心の考えを、指定字数でまとめられていれば正かいです。